

送付票(本状含め2枚)
宛先 各医療機関
各地区医師会・歯科医師会・
薬剤師会
各市町村
各市町村教育委員会
送信者: 富士・東部保健所 地域保健課

御中

平成28年7月25日
富士・東部保健所

感染症発生動向調査情報(週報)

2016年28週(07月11日～07月17日)

○ 山梨県内流行情報

中北保健所峡北支所管内では咽頭結膜熱及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎が引き続き警報レベルと なっています。また、富士・東部保健所管内での伝染性紅斑についても引き続き警報レベルとなっ ています。峡南保健所管内では先週警報レベルであった伝染性紅斑は警報レベルでなくなりました。また、中北 保健所管内では、ヘルパンギーナが警報レベルとなりました。県全体でもヘルパンギーナが増加傾向で すので注意が必要です。ヘルパンギーナは発熱と口腔粘膜に生じる水疱性の発しんを特徴とした急性の ウイルス性咽頭炎で、乳幼児を中心に流行する夏かぜの代表的感染症です。また、咽頭結膜熱及びA群 溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑、ヘルパンギーナについては、手洗い、うがいの励行などの予防 策に心がけましょう。

【今週の警報】: 咽頭結膜熱(中北保健所峡北支所管内) / A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(中北保健所峡 北支所管内) / 伝染性紅斑(富士・東部保健所管内) / ヘルパンギーナ(中北保健所管内) 【今週の注 音記】: ナカ

○ 富士・東部管内流行情報

伝染性紅斑の警報レベルが継続しております。伝染性紅斑は両頬に赤い発疹、体や手足に網目状の発 疹が見られることが特徴で、小学校入学前後の小児に多い流行性発疹性疾患です。両頬がリンゴの様に 紅くなることから、「リンゴ(ほっぺ)病」と呼ばれることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに触れることで感染(飛沫・接触感染)する感染症です。インフルエンザと 同様に、マスクの着用や手洗いうがいの励行など一般的な予防対策をしっかりと行い、引き続き体調管理 に留意しましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	131	0.03	632	0.2	1791	0.57	7591	2.42	13954	4.44	1209	0.38
山梨県	-	-	-	-	16	0.67	49	2.04	88	3.67	7	0.29
中北	-	-	-	-	6	0.75	8	1	35	4.38	4	0.5
中北峡北	-	-	-	-	10	2	22	4.4	22	4.4	1	0.2
峡東	-	-	-	-	-	-	10	2.5	4	1	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2.5	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	9	1.8	22	4.4	1	0.2
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2298	0.73	1023	0.33	1755	0.56	71	0.02	12712	4.05	3978	1.27
山梨県	11	0.46	17	0.71	3	0.13	2	0.08	91	3.79	18	0.75
中北	3	0.38	5	0.63	2	0.25	2	0.25	52	6.5	16	2
中北峡北	4	0.8	-	-	-	-	-	-	10	2	-	-
峡東	2	0.5	-	-	-	-	-	-	4	1	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	0.4	12	2.4	1	0.2	-	-	25	5	2	0.4
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	8	0.01	575	0.84	13	0.03	50	0.11	431	0.91	7	0.01
山梨県	-	-	1	0.11	-	-	-	-	1	0.1	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	28週		27週		26週		25週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	-	-	-	-	0.05	2	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	0.04	1	-	-
咽頭結膜熱	減少しています	平年並みです	0.67	16	0.92	22	1.38	33	1	24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	2.04	49	2.21	53	2.08	50	2.21	53
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	3.67	88	4.42	106	3.75	90	4.33	104
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.29	7	0.17	4	0.33	8	0.25	6
手足口病	横ばいです	平年並みです	0.46	11	0.33	8	0.46	11	0.29	7
伝染性紅斑	減少しています	平年並みです	0.71	17	1.5	36	1.21	29	1.33	32
突発性発疹	減少しています	平年より少ない発生数です	0.13	3	0.38	9	0.21	5	0.63	15
百日咳	-	-	0.08	2	-	-	0.04	1	0.08	2
ヘルパンギーナ	増加しています	平年並みです	3.79	91	2.17	52	1.33	32	0.83	20
流行性耳下腺炎	増加しています	平年並みです	0.75	18	0.54	13	0.38	9	0.54	13
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	0.11	1	-	-
流行性角結膜炎	-	-	0.11	1	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	0.1	1	0.1	1
マイコプラズマ肺炎	やや減少しています	平年並みです	0.1	1	0.2	2	0.3	3	0.1	1
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	中北	女	66
二類感染症	結核	中北	男	83
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	中北	男	87